

アフリカのスタートアップ・エコシステムの強化による投資とビジネス・パートナーシップの促進支援



- プロジェクト期間: 1年間
- 国名: アフリカ全土（ルワンダ、ガーナ、エチオピア、ナイジェリアを中心に）
- パートナー: UNDP（実施パートナー）、日本政府（資金提供者）、ティンブクトゥ・アフリカ・イノベーション財団、拠点国の各国政府、民間セクターパートナー、大学
- 予算: \$3,000,000

アフリカ全体でスタートアップ活動が活発化している一方で、初期段階の資金調達、エコシステムの断片的な連携、そして国境を越えた展開力といった点において、依然として体系的な課題が残されています。

現在、スタートアップ向け資金の83%がわずか4か国に集中しており、その多くはフィンテック分野に向けられています。また、アフリカのスタートアップが受け取っているベンチャーキャピタルは、世界全体のわずか0.2%に過ぎず、そのうち89%はアフリカ域外からの資金に依存しています。このような状況により、スケラビリティの制限、地域間の格差、そしてイノベーションに対する現地の主体性の低下といった課題が生じています。これらの課題に取り組むことは、アフリカの若い世代にとっての雇用創出を実現し、持続可能な経済成長を促進するうえで重要な鍵となります。

目的

本プロジェクトはアフリカ全土におけるスタートアップおよびイノベーションのエコシステムを強化します。

- ルワンダ、ガーナ、ナイジェリア、エチオピアにおける高度なテーマ型テックハブの支援。
- カタリティックファイナンスとブレンデッドファイナンスを通じた初期段階の資金ギャップの解消。
- 政策提言と越境連携を通じたスタートアップのスケラビリティ向上と地域間貿易の促進。
- 包摂的なエコシステム構築に向けた官民連携の促進。

プロジェクトの成果

- 8つのスタートアップ支援プログラム（各拠点あたり2件）を実施予定。内容はブートキャンプ、インキュベーション、アクセラレーションを含む。
- 320のスタートアップが研修を受け（うち50%が女性主導）、100社が返済型助成金を受給、50社が投資家マッチングファンドへアクセス。
- 政策対話「ビッグテント」会合を10回開催し、320のスタートアップを対象とした政策研修を実施。
- 240のスタートアップが、投資家向けの専用マッチングイベントでピッチを実施。
- アフリカ全土を対象とした投資家ネットワークの構築と、日本の投資家との共同投資機会の創出。

SDGsへの貢献

